

## 「(仮称)第5次宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進計画」の基本的な方針について

### 1 基本理念について

- ・ 「宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進計画」では、平成8年に定めた「福祉都市宣言」を第1次計画（平成13年度）から基本理念として位置づけて福祉のまちづくりを推進してきた。
- ・ 「福祉都市宣言」は、子どもから高齢者まですべての人々が幸せに暮らせる福祉のまちを、市民とともに創造していくことを宣言しており、あらゆるライフステージにおいて、市民一人ひとりが健康で心豊かに生き生きと暮らせる都市の実現を目指すための指針である。
- ・ この理念は、少子超高齢社会の進行など、社会環境の変化が著しい現在においても、普遍性が高く、本市が目指す福祉のまちづくりの基本的な考え方を示していることから、次期計画においても、現行計画から引き続き、以下のとおり基本理念を継承する。

#### **基本理念** 福祉都市宣言

宇都宮市は 赤ちゃんからお年寄り ハンディキャップを持った人々など すべての市民が 笑顔でことばを交わし健康でいきいきと暮らせる 心のふれあう福祉のまちをつくります

### 2 目指す「福祉のまちの姿」及び基本目標について

- ・ 本市においては、上記基本理念のもと、地域福祉の推進に資する各施策を展開してきた。
- ・ このような中、人口減少や少子高齢化の更なる進行、ライフスタイルや価値観の多様化などにより、地域の支え合いの機能の低下が懸念されており、本市が抱える福祉課題の解決を図るためには、これまで以上に、地域住民や事業者、行政など、地域の多様な主体の参画・協働により地域福祉を推進し、地域共生社会の構築を図る必要がある。

- また、第6次宇都宮市総合計画改定基本計画において、NCCを基盤とする「スーパースマートシティ」を目指しており、「地域共生社会」は、この重要な要素のひとつである。
- 現行計画における「目指す福祉のまちの姿」及び「基本目標」は、上記の地域福祉を取り巻く環境の変化を的確に捉えているとともに、地域共生社会の構築に資することから、引き続き下記のとおり設定する。

#### 目指す「福祉のまち」の姿

##### 《思いやりがあふれるまち》

市民一人ひとりが他者を理解し、主体的に地域の活動に参加し、やさしさや思いやりの気持ちを持ちながら、ちょっとした手助け・声かけ・おもてなしなどが日常生活の中で自然に行われているまち

##### 《地域で支え合うまち》

地域の誰もが絆や信頼関係を築きながら、デジタル技術を活用し、地域において、住民が抱える様々な不安や悩み、課題を把握するとともに、地域の多様な主体や行政等と連携協力して、解決することができる、住み慣れた地域で支え合いながら生活を送れるまち

##### 《安心・快適に暮らせるまち》

公園・交通などの都市基盤や、身近な施設・住宅などの生活基盤の利便性が向上し、交流活動の場が広がっていると同時に、デジタルトランスフォーメーションにより、これまで以上に多様な福祉サービスが提供され、誰もが生きがいを感じながら、安心して自立した生活を送れるまち



## 本市が目指す「やさしさをはぐくむ福祉のまち」の姿

本市が目指す「やさしさをはぐくむ福祉のまち」の姿



思いやりがあふれるまち

地域で支え合うまち

安心・快適に暮らせるまち

### 基本目標

- 基本目標 1 福祉のこころをはぐくむ人づくり
- 基本目標 2 共に支え合う地域づくり
- 基本目標 3 安心して暮らせる福祉の基盤づくり